HITACHI

循環型社会に向けた建設機械の部品再生事業のグローバル展開



2018年10月11日日立建機(株)

- ·会社概要
- ・再生センタ取り扱い製品
- •再生事業 海外展開
- ・日立建機の再生事業について
- •再生生産工程
- ・再生事業の特徴
- 今後について



2018年3月31日現在

資本金

815億7,659万円(発行済株式総数2億1,511万株)

本社

東京都台東区東上野二丁目16番1号

設立

1970年10月1日

代表者

代表執行役 執行役社長 平野 耕太郎

従業員数

連結:23,925名 単独:4,072名

事業目的

建設機械・運搬機械及び環境関連製品等の製造・販売・レンタル・アフ

ターサービス



油圧シリンダ



油圧ポンプ



油圧モータ



走行装置



マフラフィルタ



旋回装置





センタジョイント ACモータ・オルタネータ



トランスミッション

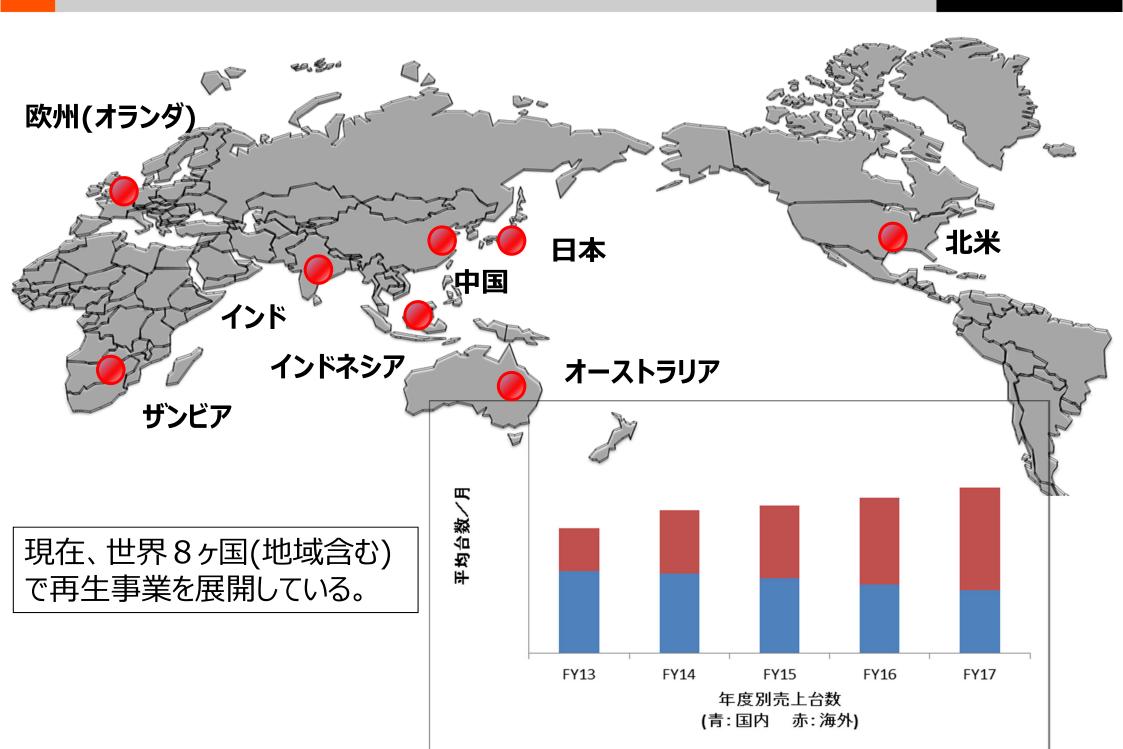


アクスル



エンジン

その他、噴射ポンプ、スタータ、 ターボチャージャ





スクラップ削減効果:約2,900t/年 メンテナンス

不具合発生

在庫 性能低下 再生作業 交換要 日次点検 新品販売のみによ る製品ライフサイ 再生販売 コア品 クル 回収 稼働開始 納品 新品販売 お客様のライフサイクルコスト低減のため、コア品をより多く回

収することにより、製品を安価に提供することが可能

般的な修理

休車時間が長いためお客様の生産性が低下



①故障品を持ち帰る

修理が終わるまで休車・・・

③現場で本体に装着



HITACHI

②故障部分を 修理



日立建機の再生事業

休車時間が短いため、生産性低下を抑制可能

①再生品をコア品と 取り換える



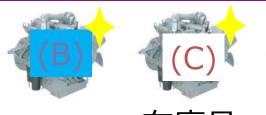
再生工場



②コア品の再生作業 を行い在庫する

現場ですぐ交換





在庫品

【前提条件】

・予防保全的な見地から、お客様、サービス部門のご協力により、初期段階不具合品の交換、コア品の提供を頂けること。

【お客様のメリット】

- ・良質なコア品を提供頂くことで、安価な再生品の提供が可能。
- ・修理対応と異なり、再生品を在庫から販売することにより、休車による生産性低下を抑制することが可能。

日立建機の再生事業では P U 品(Preventive Unit)と呼ぶ

Preventive: 予防の、防止的に、止める

コア品回収





油圧ポンプ主な性能テスト項目

- ·馬力制御特性
- ·可変流量制御特性
- ·振動騒音(異常音有無)
- ・ポンプ搭載センサ出力

· · · etc

分解/加工修理工程

洗浄

分解

再利用判定

加工修理

検査

部品完成

ロッド表面部再メッキ加工



before



after

製造メーカの基準からイン ナーパーツの機能復元



洗浄

組立

性能テスト

塗装

出荷





サービス本部

(拠点統括)







『コア品返却リスト』を共有サーバ上 で開示

再生センタ

サービス各拠点













☆コア未返却品経過日数

☆直近コア回収率

・・・など情報共有



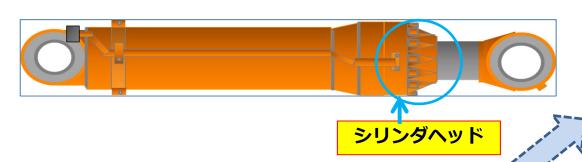


国内販売会社の理解と協力を得ることで、 高いコア回収率*を維持し、低コスト化が 可能となっている。

コア回収率=コア返却数/PU品払出し数

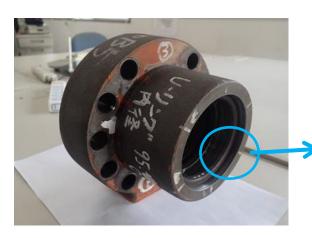
<加工修理技術の開発>

シリンダヘッドの再利用 Uリング溝部腐食





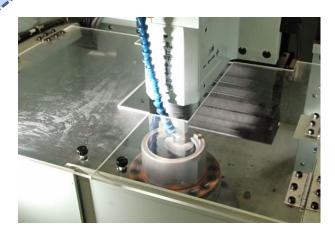
以前は、再利用できず廃棄



シリンダヘッド



腐食した Uリング溝部



満研磨機を考案し、 Uリング溝を復元



復元した Uリング溝部



カレント製品の改善

次期モデル開発



様々な稼働機から コア品を回収する ことから、その得ら れた情報を整理







フィードバック情報により品質向上が期待できる

- (1)海外再生拠点とのさらなる連携強化
- (2)再生販売品目の拡大
- (3)加工修理技術の適用範囲拡大

日立建機グループは今後とも循環型社会へ貢献できるよう、またお客様がよりいっそうメリットを享受できるよう、再生事業を推進して参ります。



!! ありがとうございました!!